

平成28年度  
文化芸術関連事業報告書

# 目次

- 1P 企画展／一日図書館員・子ども図書館員
- 2P レファレンスサービス／大人のためのおはなし会
- 3P 赤星信子展
- 4P 文化芸術交流事業／社会教育関係団体活動支援
- 5P 公共施設美術品展示
- 6P 文化教養向上／小学校親子読書活動促進
- 7P 図書館まつり／読書活動促進
- 8P 学校図書館・公共図書館相互貸借／セカンドブック
- 9P 読み聞かせ促進
- 13P コスモス市民講座
- 14P 自然史・歴史講座
- 15P 芸術祭／文化祭
- 16P コンサート
- 17P 童謡まつり／こども美術展
- 18P 青少年活動支援事業(わくわくフェスタ)／古賀の魅力再発見コンテスト
- 19P 地域人権啓発
- 20P 読書ノート／中学生読書サポーター
- 21P アート・バス／読書推進
- 22P 青少年活動推進(アート教室)／青少年音楽活動支援
- 23P 生き生き音楽校／視聴覚資料利用促進
- 24P 地域文庫・読書ボランティア支援／視聴覚障害者読書支援
- 25P 青少年活動支援(コスモックスまつり)／乳幼児親子相談
- 26P 乳幼児親子居場所提供／地域介護予防推進
  
- 27P ねんりんスポーツ・文化祭／介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営
  
- 28P 高齢者生きがいつくり支援センター(えんがわくらぶ)運営  
介護予防・生きがいづくり支援(しゅんしゅん)
- 29P 介護予防支援センター(りん)管理運営／外出促進
- 30P レッツトライ!プロジェクト
- 31P 乳幼児絵本との出会い促進事業(ブックスタート)
- 32P 文化芸術振興計画管理事務
- 33P 演劇ワークショップ・ミュージカル公演／古賀市「第九」演奏会
- 34P 絵画で古賀市を元気にするプロジェクト
- 35P 夏休みこども体験教室
- 36P 定期演奏会／文化芸術事業補助金

※「リーパスプラザこが」の表記については、記載スペースが足りないため省略。

## 平成28年度文化芸術事業報告書(企画展)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝の再認識 — 行政がおこす — 短期		
目的	市民が歴史、民俗、博物、考古について学ぶ機会を提供する。		
日時	11月1日(火)～12月11日(日) ※歴史資料館の休館日を除く	会場	歴史資料館 ギャラリー
来場者	下記のとおり	参加者	下記のとおり
担当課	文化課	担当係	文化財係・文化振興係
内容	<p>【展示等】平成28年11月1日(火)～12月11日(日) 『国史跡指定記念企画展「船原古墳展」』 ※船原古墳出土遺物である馬冑・鈴等の他、福津市や宗像市など近隣の古墳からの出土遺物も併せて展示 〔会場:歴史資料館 ギャラリー〕 来館者 1,750人</p> <p>船原古墳が平成28年10月3日に国史跡指定を受けたことを記念し、第1部「古墳の出現から船原古墳へ」、第2部「出土品から見る船原古墳」、第3部「最新技術を用いた調査」の3部構成で展示を行った。今回は保存処理作業中ではあったが、日本で3例目となる「馬冑」を展示物のメインに据えたうえで、福津・宗像市内の古墳からの出土遺物も同時に展示することで、船原古墳出土遺物との関連を探る工夫をした。また遺物埋納坑1号土坑と馬冑のCG(コンピュータグラフィックス)を作成し、遺物出土状況や馬冑の構造が来館者にも確認出来るようにした。更に遺物埋納坑1号土坑の実物大シートを資料館入り口に設置し、来館者への説明に活用した。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館の展示パネルを、小・中学生にも読めるように図を用いて分かりやすく展示することで、幅広い年代の市民が船原古墳への関心を高めることができた。</li> <li>・企画展に際して発行した図録は考古学の専門性を重視した作りであるため、今後も専門分野への活用及び周知への利用を見込むことができる。</li> <li>・企画展に多くの市民が関心・興味を持てるテーマの選定や演出及び広報の方法を検討する。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(一日図書館員・子ども図書館員事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	図書館の仕事を体験することで、図書館に対する理解、関心を高める。また、図書館が身近なものとなることで、読書の促進につなげる。		
日時	子ども図書館員:10月8日(土) 1～3年 10時30分～12時 4～6年 14時～15時30分 大人の図書館員:平成29年2月15日(水) 9時20分～15時	会場	図書館
来場者		参加者	大人:3人 子ども:7人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【大人の図書館員】 図書館業務である、カウンター業務を体験したり、「小さい子のおはなし会」の見学や書架整理、更にデータベース利用体験、整備などを行った。</p> <p>【子ども図書館員】 図書館についての説明後、館内見学、図書館業務体験を行った。 参加学年:1年生 2人 2年生 3人 4年生 2人</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の図書館員の参加者からは、「図書館について理解が深まった。大変良い経験だった」、「職員が1冊1冊の本を大切に扱っていることも印象的だった」等の感想をもらった。</li> <li>・図書館の機能やサービス内容について、広報活動に努めていきたい。</li> <li>・子ども図書館員の参加者は、学年に偏りはあったが、参加した小学生は、それぞれ少し緊張しながらも大変興味を持って体験に望んでいた。</li> <li>・最後に館長から終了証を渡し、「読書ノート」を渡した。今後の利用につながることを期待したい。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(レファレンスサービス事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	情報を求めている市民・図書館利用者に対し、資料の調査をしたり、相談に応じることで情報の提供を図る。		
日時	随時	会場	図書館
来場者		参加者	情報を求める市民、図書館利用者
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の多種多様なニーズに応じて、資料及び情報の提供を行った。 レファレンス件数: 8, 038件 口頭: 4, 115件 相互貸借: 3, 923件</li> <li>・カウンターに必要な書誌を揃えた。</li> <li>・過去の新聞記事を検索できるデータベースや事典・辞書等を備えたデータベースを備えた。</li> <li>・28年度から「食と農」をテーマにした内容で、農作物の病気、害虫や野菜づくり等を調べることができるデータベースを備えた。</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス対応の為の書誌等を揃えるなどカウンターを整備し、利用者が求める時に、すぐ対応できるよう職員体制にも努めてきたが不十分な面があった。今後は市民のニーズや地域の課題に応じたレファレンスに対応ができるように、職員の日頃の自己研鑽や体制づくりが必要である。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(大人のためのおはなし会事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	大人に昔話を語ることによって、語りのよさを味わってもらい、読書の幅を広げる。		
日時	平成29年1月29日(日) 14時～15時	会場	歴史資料館 中会議室
来場者		参加者	55人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>大人を対象に、講師より、グリムの昔話や福岡県の昔話を大人対象に語っていただいた。</p> <p><b>【講師】</b>          語りの会「小さなぐみの木」主宰 石川 文代さん          「きりん文庫かすが」主宰 徳永 明子さん</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加定員を50人にしていましたが、近隣市町からも参加があり55人となった。</li> <li>・日本の伝統的なわらべうたや、手遊びも交え、生の声で語られる昔話の魅力に、心があたたまるときの過ごすことができた。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(赤星信子展)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期																																																								
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市を代表する画家である赤星信子氏の功績や、作品の素晴らしさを市民に知ってもらうとともに、ふるさと古賀に対する誇りを高める。</li> <li>・市内外に古賀市の魅力を発信する。</li> </ul>																																																								
日時	平成29年2月8日(水)～18日(土)	会場	歴史資料館 ギャラリー 中会議室																																																						
来場者	504人	参加者																																																							
担当課	文化課	担当係	文化振興係																																																						
内容	<p>【展示期間】平成29年2月8日(水)～18日(土)のうち10日間(休館日を除く)</p> <p>【来場者合計人数】504人(1日平均50.4人)          男性:242人 女性:354人 市内居住者:401人 市外居住者:103人          小学生以下:18人 中高生:2人 ～59歳:102人 60歳～:382人</p> <p>【展示内容】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・赤星信子氏の絵画(古賀市所有)</td> <td style="width: 20%;">油彩 7点</td> <td style="width: 20%;">水彩 30点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏の写真</td> <td></td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏及び赤星孝氏ご夫妻の写真</td> <td></td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏に関わるパネル</td> <td></td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏画集引用パネル</td> <td></td> <td>3枚</td> </tr> <tr> <td>・赤星孝氏に関するパネル</td> <td></td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>・青梅市発行独立展画集引用パネル</td> <td></td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>・独立展の説明パネル</td> <td></td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>・教育長ごあいさつパネル</td> <td></td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>・天神地下街発行の雑誌「石だたみ」説明パネル</td> <td></td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏に関する書籍</td> <td></td> <td>2点</td> </tr> </table> <p>【以下赤星信子氏ご遺族より借用】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">・赤星信子氏の絵画</td> <td style="width: 20%;">油彩14点</td> <td style="width: 20%;">デッサン2点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏愛用のベレー帽</td> <td></td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏の画材道具(パレット・筆・ナイフ等)</td> <td></td> <td>8点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏に関わる記事が掲載された書籍</td> <td></td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>・天神地下街発行の雑誌(赤星信子氏が表紙を担当)</td> <td></td> <td>20点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏の作品写真のアルバム</td> <td></td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>・赤星信子氏の作品を掲載したポスター</td> <td></td> <td>2点</td> </tr> </table>			・赤星信子氏の絵画(古賀市所有)	油彩 7点	水彩 30点	・赤星信子氏の写真		2枚	・赤星信子氏及び赤星孝氏ご夫妻の写真		2枚	・赤星信子氏に関わるパネル		2枚	・赤星信子氏画集引用パネル		3枚	・赤星孝氏に関するパネル		2枚	・青梅市発行独立展画集引用パネル		1枚	・独立展の説明パネル		1枚	・教育長ごあいさつパネル		1枚	・天神地下街発行の雑誌「石だたみ」説明パネル		1枚	・赤星信子氏に関する書籍		2点	・赤星信子氏の絵画	油彩14点	デッサン2点	・赤星信子氏愛用のベレー帽		1点	・赤星信子氏の画材道具(パレット・筆・ナイフ等)		8点	・赤星信子氏に関わる記事が掲載された書籍		2点	・天神地下街発行の雑誌(赤星信子氏が表紙を担当)		20点	・赤星信子氏の作品写真のアルバム		1点	・赤星信子氏の作品を掲載したポスター		2点
・赤星信子氏の絵画(古賀市所有)	油彩 7点	水彩 30点																																																							
・赤星信子氏の写真		2枚																																																							
・赤星信子氏及び赤星孝氏ご夫妻の写真		2枚																																																							
・赤星信子氏に関わるパネル		2枚																																																							
・赤星信子氏画集引用パネル		3枚																																																							
・赤星孝氏に関するパネル		2枚																																																							
・青梅市発行独立展画集引用パネル		1枚																																																							
・独立展の説明パネル		1枚																																																							
・教育長ごあいさつパネル		1枚																																																							
・天神地下街発行の雑誌「石だたみ」説明パネル		1枚																																																							
・赤星信子氏に関する書籍		2点																																																							
・赤星信子氏の絵画	油彩14点	デッサン2点																																																							
・赤星信子氏愛用のベレー帽		1点																																																							
・赤星信子氏の画材道具(パレット・筆・ナイフ等)		8点																																																							
・赤星信子氏に関わる記事が掲載された書籍		2点																																																							
・天神地下街発行の雑誌(赤星信子氏が表紙を担当)		20点																																																							
・赤星信子氏の作品写真のアルバム		1点																																																							
・赤星信子氏の作品を掲載したポスター		2点																																																							
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本展覧会を通して赤星信子氏の存在を初めて知ったという意見が多数見受けられた。</li> <li>・油彩画が多い画家であるが、市所有の作品としては水彩画が多い。そのため、多くの水彩画を展示したところ、よく展覧会に行かれるファンの方からは、新しい一面を知れたと喜ばれた。</li> <li>・このような素晴らしい画家が古賀にいることを知れて誇りになったとの意見が多数見受けられた。</li> <li>・作品をみて、創作意欲が沸いた、参考になった等の意見が見受けられた。</li> <li>・専門知識のない職員による会場レイアウトや作品の選定等には限界がある。</li> </ul>																																																								

平成28年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事務)			
計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。</li> <li>・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。</li> <li>・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p><b>【粕屋地区美術展】</b>            日時 平成28年11月25日～12月1日 10時～17時            会場 志免町民体育館            内容 糟屋郡の1市7町と福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。平成28年度で44回目をむかえた。毎年古賀市から30点～40点の出品をしており、作品は市民から広報を通して作品公募している。            出展 出展者30人 入賞者8人            ・糟屋地区文化協会連合会賞(1人) ・糟屋地区議会協議会賞(2人)            ・福岡県美術協会賞(1人) ・奨励賞(4人) 受賞</p> <p><b>【福岡 I ブロック芸文のつどい】</b>            日時 平成28年11月20日 9時～            会場 レスポール久山            内容 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。平成28年度で24回目をむかえた。毎年古賀市からは3団体(10人～20人)程度が出演する。            出演 古賀市からは2団体出席</p> <p><b>【福岡 I ブロック文化講演会】</b>            日時 平成28年9月17日 13時30分～            会場 交流館 多目的ホール            内容 糟屋郡1市7町、福津市、宗像市の中で、希望市町が開催する講演会。平成28年度は古賀市が開催市として「船原古墳」について福岡大学の桃崎教授の講演会を開催。            来場 233人</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化講演会は非常に好評で、古賀市の文化的な魅力を市内外にPRできた。</li> <li>・出品者の高齢化が進んでいる。</li> <li>・出品者が減少傾向にある。</li> <li>・若い出品者の開拓が必要である。</li> </ul>		

平成28年度文化芸術事業報告書(社会教育関係団体活動支援事業)			
計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 短期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	市内で行われている生涯学習活動が、地域やジャンルの垣根を越えた様々な交流の場が生まれることを目指す。		
日時	8月7日(日)	会場	交流館 多目的ホール
来場者	140人	参加者	63人
担当課	生涯学習推進課	担当係	社会教育振興係
内容	古賀市で活動している団体の活動発表及び実践報告 <b>【アトラクション】(活動発表)</b> 「古賀キッズプラス」 「りんコール」 <b>【実践報告】</b> 「古賀東校区コミュニティ協議会」 「古賀市緑のまちづくりの会」 「古賀東中学校PTCA学力向上支援委員会」		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくの市民の自主的な活動であるため、さらにアピールするためにも、参加者を増やす、もしくは、より多くの人が集まる場(例:市民のつどい)での実施が望ましい。</li> <li>・市民活動、地域活動について、新しい繋がりをいかに形成していくか考え、他地域にも広がるよう努める。</li> <li>・オープニングにみんなで歌える仕掛けがあればよかった。</li> <li>・これらの活動を出前講座等で発表できないか。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(公共施設美術品展示)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。</li> <li>・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	古賀市役所 市民ホール
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p>糟屋美術展、MOA古賀市児童作品展、古賀市こども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行き交う空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。基本的に1ヶ月ごとに作品を入れ替え、合計13回の絵画の交換を行った。</p>		
	4月	シブタ <b>洪田 玲子</b>	第44回糟屋美術展福岡県美術協会賞「思い出」
	5月	フジワラ <b>藤原 尚武</b>	第55回西日本フォトコンテスト入選「役目を終えて」 第44回糟屋地区美術展福岡県美術協会賞「サンセットジャンプ」
	6月	シバタ <b>柴田 美知枝</b>	第43回糟屋美術展奨励賞「棚田」
	7月	オオクワ <b>大桑 邦子</b>	第43回糟屋美術展糟屋地区社会教育振興会賞「ふうせんかづら」
	8月	マエダ <b>前田 悠太郎</b>	第43回糟屋美術展奨励賞「強風注意報」
	9月	ミヤタ <b>宮田 昌子</b>	MOA美術展大賞古賀市児童作品展大賞「さかなたちのパレード」
	10月	アサカワ <b>浅川 武夫</b>	第43回糟屋地区美術展糟屋地区議長協議会賞「歓喜」
	11月	ミヤハラ <b>宮原 美代子</b>	第43回糟屋美術展入賞「ほほえみ」
	12月	シノハラ <b>篠原 鶴光</b>	第43回糟屋美術展糟屋地区文化協会連合会賞「真夜中の夜想曲」
	1月	古賀竟成館高等学校 ベーシックデザインコース3年生 川崎 吏輝(かわさき りき)	第17回高校生国際美術展奨励賞「言葉のない景色」
	2月	古賀竟成館高等学校 ベーシックデザインコース3年生 森林 瑠里(もりばやし るり)	第17回高校生国際美術展奨励賞「Level. 2」
	3月	花見小学校3年生 高坂 真桜(こうさか まお) 花鶴小学校4年生 本田 愛莉(ほんだ あいり) 花鶴小学校2年生 賀川 美羽(かがわ みう)	第9回古賀市こども美術展 「大切なお花」 「生きる力」 「水力」
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度または今年度に素晴らしい成績を残された方の作品を1ヶ月ごとに展示することで、来場する人に飽くことなく優秀な作品を鑑賞してもらえた。</li> <li>・作品を見る目的で、市役所を訪れる人もいた。</li> <li>・展示場所が、紫外線が入る場所なので対策を考える必要がある。</li> <li>・上記の美術展以外の受賞作品も展示対象に入れるべきか等検討する。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(文化教養向上事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期		
目的	文化活動をとおり、参加した市民同士の交流の場・コミュニケーションの場を作るとともに、参加者の人権意識高揚へつなげる		
日時	通年(各教室、月2回)	会場	隣保館・高田教育集会所 ししぶ交流センター(ししぶ集会所)
来場者	市民	参加者	生花:8人 民舞:各5人 パソコン:8人
担当課	隣保館	担当係	
内容	主に、会場の近隣住民を対象とし、下記内容にて実施。 生花、民舞、パソコンの各種文化教室を実施する。(各教室月2回) 生花教室:1教室 民舞教室:2教室 パソコン教室:1教室		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動を通し、地域住民の交流およびコミュニケーションの場を作ることができた。</li> <li>・隣保館が開催する「ひだまり館まつり」等への作品出展に向けた活動や、日々の生活の中に活動の成果が見出すことができてきた。</li> <li>・住民相互の人権についての理解・認識ができる場を作ることができつつある。</li> <li>・教室の一つ一つが、交流の場となっているものの、受講者が自ら講座等を開催したり、活動を進めていく人材までにはいたっていない。</li> <li>・また、育成する参加者も固定化しつつあるため、幅広く参加できる体制作りを検討する。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(小学校親子読書活動促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	家庭における読書活動の重要性を認識すると共に、仲間と共に活動することで、更なる読書の活発化を図る。		
日時	親子読書会:各小学校で随時 つどい:平成29年1月22日(日)	会場	定例親子読書会:各小学校にて実施 つどい:交流館 多目的ホール
来場者		参加者	会員数:87人 つどい参加者:313名
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【定例親子読書会】 各小学校で随時活動 8小学校にあり 会員数:87人 各学校で読書会を実施したり、講師を招き読書から発展した活動を行った。</p> <p>【つどい】 平成29年1月22日(日)実施 参加者数:313人 各学校の活動の発表を行った。</p>		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校児童や保護者に市内各小学校で行う親子読書会への参加を促すことで、親子で一緒に本を読む時間を持つことや読書の楽しさにふれたり、親子の仲間と共に活動することで読書の幅を広げ、深めることができた。</li> <li>・各学校での活動では、読書活動を親子で楽しみ、読書習慣を育むことができています。</li> <li>・つどいでは、各親子読書会との交流や情報交換ができています。</li> <li>・共働き世帯の増加により親子読書会の加入世帯の減少が見られる。参加可能な世帯だけでなく、親子読書活動を広げるための方向性を考えていく必要がある。</li> </ul>		



## 平成28年度文化芸術事業報告書(図書館まつり事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	幅広い年齢層の市民、利用者に読書活動の普及と図書館利用の促進を図る。		
日時	10月28日(金)～10月30日(日)	会場	図書館 交流館 歴史資料館
来場者	期間中入館者数 3,541人	参加者	756人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<b>【図書館まつり】</b> ・ブックリサイクル(ロビー) 参加者:482人 図書館で除籍した本を利用者に提供。 ・ことちゃんぬりえコンテスト、読書クイズ、読書のある風景スナップ写真募集し、ギャラリーに掲示。 ぬりえや写真の優秀作品やクイズの正解者には図書カードをプレゼント。 ・しおり作り ・布の絵本展示(こがめルーム) ・親子木工教室「親子で本立てを作ろう」 ・読書講演会 おはなしおばさん 藤田浩子氏「ヒトは人に育てられて、人になる」		
成果課題	・クイズやぬりえ、写真等の募集、手作りしおり、親子木工教室などを行い、幅広い世代の方に楽しんでいただき入館者を増やすことができた。 ・読書講演会は、100人を超える参加者で大変好評であった。 ・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(読書活動促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市民や読書ボランティアに対して、講座や講演会を開催し、市民の多様な学習機会を提供・支援し、読書活動の促進を図る。		
日時	4月16日 他	会場	歴史資料館 中会議室他
来場者		参加者	477人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	読書講演会及び講演会等を開催し、読書の楽しみを拡げたり、読書活動の推進を行った。 ・子ども読書の日講座 ・読書講座 2回 ・読書ボランティア養成講座 ・暮らしの講座 2回 ・読書講演会 ・親子木工教室 ・人形劇とカステラ作り		
成果課題	・文学講座だけでなく、暮らしの講座「野菜づくり」や、親子木工教室、また人形劇を見てカステラ作りをする講座など参加型の講座を実施することで、多くの参加者にきていただいた。 ・今後も、市民のニーズや地域の課題に対応した情報提供等の充実や促進に努めたい。		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(学校図書館・公共図書館相互貸借事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	図書館利用者・市内小中校児童生徒に対し、インターネット横断検索を利用した相互貸借を行うことで、国・県・市の公共図書館の図書資料を有効活用し、必要とされる情報及び資料を提供する。		
日時	随時	会場	古賀市図書館⇄他市図書館
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共図書館及び学校図書館ネットワークを使い、横断検索で資料の検索を行い、公共図書館間や学校図書館間で相互に貸借を実施。</li> <li>・リクエストカードに要望を書いてもらい、その希望に沿って他市・他県から相互貸借を実施。</li> <li>・学校図書館ネットワーク(e-slip)を活用し、市内小中学校間の利用を円滑に実施。 市立図書館から小中学校への貸出冊数:1,309冊(年間)</li> <li>・国・県・市の公共図書館ネットワークを活用し、相互貸借を行う。 相互貸借数:3,923冊(年間)</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館に所蔵のない資料を他公共図書館等と貸し借りすることで、限られた予算と図書資料の有効活用ができる。</li> <li>・情報化社会に対応したインターネットによる相互貸借を活用することで、利用者の利便性向上を図る。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(セカンドブック事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	読書に対する子どもの興味・関心を高め読書好きな子どもを育成すると共に、保護者が子へ本の読み聞かせをすることでお互いに心豊かな時間を過ごし絆を深める一つの機会として家読の推進を目的とする。		
日時	下記のとおり	会場	図書館 こがめルーム サンコスモ古賀 すこやかホール
来場者		参加者	引換券送付人数:564人 配布人数:307人(引換率 54%)
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>第4日曜日の11時30分～を基本に、第3水曜日15時30分～やサンコスモ古賀での3歳児健診日に合わせて実施するなど月2回のペースで年度当初に日程計画を作成。</p> <p>【3歳になる子どもへのセカンドブック配布事業】 3歳の誕生日を迎える子どもに絵本の引換券を送付し、図書館又はサンコスモ古賀で開催する毎月2回の「セカンドブックおはなし会」に参加していただき、「セカンドブックのしおり」と共に絵本を一人1冊プレゼントした。又、図書館内に「セカンドブックコーナー」を設置し、おすすめの本を展示し、親子で本を楽しむスペースを確保している。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「セカンドブックおはなし会」では、参加した親子にセカンドブックの意義を伝え、本を読んだり、手遊びをしながら絵本を手渡すことができた。おはなし会後には、喜んで絵本を受け取る姿が見られた。</li> <li>・配布率は、平成28年4月～翌年3月生まれの3歳児対象で4月末現在(3月生まれの配布が4月になる為)54%であった。初年度ということでセカンドブック事業の周知不足や忙しい保護者が「セカンドブックおはなし会」に参加しにくいという実態があった。今後一人でも多くの親子に手渡すことができるように、検討しながら改善していきたい。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(読み聞かせ促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動の推進。</li> <li>・読書活動に関する興味関心を深める。</li> <li>・図書館を身近に感じてもらう。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	おはなし会:図書館 こがめルーム おはなし会スペシャル:歴史資料館 中会議室
来場者		参加者	総参加人数 2,393人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>絵本の読み聞かせを中心に紙芝居、手遊び等を交えながら、読書ボランティア団体の協力のもと、おはなし会を実施。</p> <p>【どようおはなし会】 開催:毎週土曜日 11時～11時30分 対象:幼児～小学生 年49回 人数:1,150人</p> <p>【赤ちゃんおはなし会】 開催:第2水曜日 11時～11時20分、11時40分～12時 対象:赤ちゃん 年24回 人数:474人</p> <p>【小さい子のおはなし会】 開催:第3水曜日 11時～11時30分 対象:1歳～3歳 年12回 人数:254人</p> <p>【セカンドブックおはなし会】 開催:月2回 対象:3歳 年22回 人数:422人</p> <p>【おはなし会スペシャル】 開催:7月17日 対象:幼児～小学生 人数:93人 古賀市内6つの地域文庫で活動している市民による、群読や大型絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング及び人形劇等を実施。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階にあわせたおはなし会を定期的実施することで、多くの親子参加につながった。</li> <li>・「おはなし会スペシャル」は、夏休み恒例の催しものとして定着しているため、さらに子どもたちが読書に親しむきっかけになるよう、演目と併せて原作も紹介したことで本を借りていく姿が見られた。</li> <li>また、プログラムの幕間に地域文庫の紹介、パネルの展示も行うことにより文庫活動への関心が深まった。更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす		
目的	社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことへの意欲が高まっている。人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を目指し、「市民が主体となって相互に学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続ける人が育つまちづくり、仲間作りに貢献すること」を目的に開催する。		
日時	5月12日(木)～2月16日(木)	会場	交流館 中央公民館 他
来場者		参加者	924人
担当課	生涯学習推進課	担当係	公民館係
内容	<b>◎公開講座 前期期間 5月～7月 3講座</b>		
	①日時	5月12日(木) 10時～12時	受講生 一般 35人
	内容	開講式&各講座説明、ウクレレ演奏会「～ゆるっとゆるゆるウクレレを楽しむ～」	
	講師	おかはちと愉快的仲間たち	
	②日時	5月20日(金) 10時～12時	受講生 一般 39人
	内容	「魅力いっぱい、古賀グリーンパーク ～楽しい森づくり～」	
	講師	古賀市緑のまちづくりの会 宿理英彦	
	③日時	6月18日(土) 13時30分～15時30分	受講生 一般 26人
	内容	「分ければ資源！分別ごみに思うこと」 ～「古賀市家庭ごみ分別市民意識アンケート調査」分析結果より～	
	講師	福岡工業大学社会環境学部 教授 仁科信春	
	<b>◎公開講座 後期期間 8月～2月 3講座</b>		
	④日時	8月4日(木) 10時～12時	受講生 一般 85人
内容	後期講座説明、落語「落語を楽しもう」		
講師	宗像落語会 粗忽家酔書		
⑤日時	10月20日(木) 10時～12時	受講生 一般 95人	
内容	しあわせの国ブータンの暮らし “経済的な幸せ＝人生の幸せ”と考えないブータンの人々の生活を考えてみませんか？		
講師	ヤクランド 久保淳子		
⑥日時	2月16日(木) 10時～12時	受講生 一般 152人	
内容	閉講式&各講座報告、ジャズ演奏会「ジャズを楽しもう」		
講師	JAZZ VOCAL MUSA Miyuki (ムーサ・ミュキ)		
<b>◎体験講座 学び舎コース 通年 5月～2月 4講座 各6回</b>			
①講座名	古賀を巡る歴史「戦国時代の武将」		
日時	1回目 9/8 武将 薦野増時「講師 古賀郷土研究会 飯島勇一郎」 2回目 10/13 武将 宗像氏禎 菊姫のこと 「講師 桑田和明」 3回目 11/10 武将 立花道雪 色姫のこと 「講師 今長谷照子」 4回目 12/8 武将 立花宗茂 闇千代のこと 「講師 今長谷照子」 5回目 1/12 武将 黒田官兵衛 「講師 今長谷照子」 6回目 2/9 古賀を巡る戦国時代 「講師 藤野義一」		
受講生	17人		
②講座名	「みんなで歌おう」		
日時	1回目 8/9 青春ソング 昭和の歌1 「講師(株)アルカディア 井上祐子」 2回目 9/13 青春ソング 昭和の歌2 「講師(株)アルカディア 井上祐子」 3回目 10/18 民謡・お座敷歌 「みなみ三郎」 4回目 11/8 ウクレレソング&ボイストレーニング 「講師 重瀨まゆみ」 5回目 12/13 クリスマスソング 「講師 MUSA Miyuki」 6回目 1/17 フルートとピアノ(鑑賞と一緒に歌おう)「講師 金子佐知子」		
受講生	36人		

内容	③講座名 輝くおやじ「家庭で役立つおやじ」			
	日時 1回目 8/24 家電の基礎知識		「講師 吉見一郎」	受講生 13人
	2回目 9/21 おやじの料理		「講師 荒牧絹世」	
	3回目 10/19 ピザ作り		「講師 結城俊子」	
	4回目 11/16 陶芸体験		「講師 香川義文」	
	5回目 12/7 寄せ植えづくり		「講師 中野かよみ」	
	6回目 1/18 社会科見学		「TOTO株式会社 他」	
	④講座名 脳力アップ「脳を活性化してイキイキ人生」			
	日時 1回目 8/25 脳活のすすめ		「講師 野邊薫」	受講生 14人
	2回目 9/29 百マス計算、音読、音楽		「講師 吉永春男」	
	3回目 10/27 脳活ワークショップ		「講師 野邊薫」	
	4回目 11/24 笑いヨガ		「講師 穴井めぐみ」	
	5回目 12/22 健康レクササイズ		「講師 柳本早百合」	
	6回目 1/26 復習、みんなで楽しく		「講師 佐藤仁」	
◎体験講座 はじめてのチャレンジコース 前期期間 5月～7月 9講座				
①講座名 「木工DIY教室」				
日時 5月24日(火) 10時～12時				受講生 10人
内容 多目的ラックを作成する。				
講師 (株)長崎材木店 田中晋二				
②講座名 「初めての飾り寿司」				
日時 5月25日(水) 10時～12時				受講生 25人
内容 日本古来の飾り巻き寿司である「花巻」「梅の花」「藤の花」を作る。				
講師 笹野 徹				
③講座名 「はじめてのスクラップブック」				
日時 6月9日(木) 13時～15時				受講生 9人
内容 思い出の写真を美しくレイアウトし、2種類のクラフトアルバムを作る。				
講師 杉原 美絵				
④講座名 「ハーブの効能と料理」				
日時 6月30日(木) 10時～12時				受講生 26人
内容 健康に良いとされているハーブの働きを学ぶ。				
講師 ハーブ専門店 falmu 鈴木 菜穂子				
⑤講座名 「はじめての俳句」				
日時 7月21日(木) 10時～12時				受講生 17人
内容 俳句の定義、季語の入れ方、切字等を講話と実技を通して学ぶ。				
講師 井上 文子				
⑥講座名 「話し方講座」				
日時 7月26日(火) 13時30分～15時30分				受講生 18人
内容 自己紹介や人前で話す時のコツ等、「話す力」を正しく身につける。				
講師 FM鹿児島ラジオパーソナリティ 川添 幸一				
⑦講座名 「楽しい、箱庭づくり」				
日時 8月20日(土) 13時30分～15時30分				受講生 6人
内容 建築廃材(木材、石、苔等)を使って、オリジナルの箱庭作る。				
講師 (株)デザインネットワークアソシエイツ 谷川 晴信				
◎体験講座 はじめてのチャレンジコース 後期期間 9月～2月 11講座				
①講座名 「プロの料理人に学ぶパスタ」				
日時 9月6日(火) 10時～12時				受講生 20人
内容 基本的な下ごしらえから調理法まで、講師オリジナルのパスタ料理を学ぶ。				
講師 フレンチ料理人 山川 謙司				
②講座名 「古布でアクセサリーを作ろう」				
日時 9月10日(土) 13時～15時				受講生 21人
内容 家にたまったハギレを利用し、オリジナルのアクセサリーを作る。				
講師 手芸サークルA 比多勝 育子				

内容	③講座名	「はじめてのポーセラーツ」	受講生
	日時	9月14日(水) 10時～12時	6人
	内容	白磁に専用の転写用紙を使い、Porcelain(磁器)Art(芸術)を組み合わせた、世界に一つのお皿を作る。	
	講師	日本ヴォーグ社認定ポーセラーツ主宰 増永 弘美	
	④講座名	「ブータンのお菓子を作ろう」	受講生
	日時	10月20日(木) 13時30分～15時30分	23人
	内容	シンプルなのに美味しく、おもてなし・お供物としても良い、ブータンのビスケット状のお菓子「カプセ」を作る。	
	講師	ヤクランド 久保 淳子	
	⑤講座名	「オリジナル苔玉とエコ皿」	受講生
	日時	10月26日(木) 10時～12時	16人
内容	誰でも簡単にできる苔玉を作って、エコ皿に飾る。		
講師	古賀市緑のまちづくりの会 青崎 安孝		
⑥講座名	「プロに学ぶお菓子づくり」	受講生	
日時	11月22日(火) 10時～13時	20人	
内容	膨らむシュークリームの皮、カスタードクリーム作りのコツ等を、プロから学ぶ。		
講師	フレンチ料理人 山川 譲司		
⑦講座名	「着物の着付け」	受講生	
日時	12月10日(土) 10時～12時	7人	
内容	着物の着付けを学びながら、和ライフを楽しむ。		
講師	着付け 百合の会 杉山 淑子		
⑧講座名	「高校でパソコン教室」《全2回》	受講生	
日時	1回目:12月19日(月) 2回目:12月20日(火) 全2回 14時～16時	15人	
内容	コンピュータ教室で、基本からしっかりとWord文章を学ぶ。		
講師	古賀竟成館高校 高校生		
⑨講座名	「クリスマスの花を生ける」	受講生	
日時	12月20日(火) 10時～12時	10人	
内容	クリスマスを意識した、花の生け方を学ぶ。		
講師	人材バンク登録者 光永祐香里		
⑩講座名	「奏でようミュージックベル」	受講生	
日時	2月1日(水) 10時～12時	13人	
内容	楽譜が読めなくても大丈夫。皆で協力しあって一つの音楽を作り上げる楽しさを学ぶ		
講師	金子 佐知子		
◎市民持ち込み企画コース 前期 3講座			
①講座名	「花に親しむ、はじめてのアレンジ」	受講生	
日時	6月22日(水) 10時～12時	8人	
内容	気に入った器に自由に生けていく、アレンジメントの講座。		
講師	人材バンク登録者 佐々木 洋子		
②講座名	「ボールペンで書く暑中葉書」《全2回》	受講生	
日時	1回目:6月29日(水) 2回目:7月6日(水) 全2回 10時～12時	10人	
内容	ボールペンを使ってのびやかに、暑中葉書を書き上げる。		
講師	人材バンク登録者 渋田 雪絵		
③講座名	「最近の結婚事情」	受講生	
日時	7月21日(木) 13時30分～15時30分	12人	
内容	今時の独身者の結婚を支えるために、現在の結婚事情を踏まえた応援法を学ぶ。		
講師	エフコネク(株) 小柳 博之、特活ZIPANGこが 原山 輝子		
◎市民持ち込み企画コース 後期期間 8月～2月 7講座			
①講座名	「親亡きあとの障がい者を考える！」	受講生	
日時	8月6日(土) 10時～12時	12人	
内容	障がい者を取り巻く福祉の動向、親亡きあとは誰が支援するのかを一緒に考える。		
講師	NPO法人高齢者・障がい者安心サポートネット 高原 勝利		

	<p>②講座名 「D1だじゃれ教室」 日 時 9月4日(日) 10時～11時30分 内 容 ユーモア溢れる言葉あそび、笑い楽しみながら、だじゃれを学ぶ。 講 師 日本カウンセリング学会正会員 内海 義彦</p>	受講生 14人
	<p>③講座名 「ママと一緒にバレエ」《全2回》 日 時 1回目:9月24日(土) 2回:10月1日(火) 全2回 11時～12時 内 容 親子でストレッチ。スキンシップで笑顔になれる優しいバレエ講座。 講 師 ユカリクラシックバレエ 光永 祐香里</p>	受講生 9人
	<p>④講座名 「香りの癒しハーブとアロマセラピー」《全2回》 日 時 1回目:10月25日(火) 2回目:11月29日(火) 全2回 10時～12時 内 容 自分に合う香りを知り、香りグッズやハーブティーを作る。 講 師 ハーブのゆりかご 奈木野 亜紀</p>	受講生 22人
	<p>⑤講座名 「年賀状を書きましょう」《全2回》 日 時 1回目:11月11日(火) 2回目:11月18日(金) 全2回 10時～11時30分 内 容 ボールペンを使って、手軽な手書きの年賀状の書き方を学ぶ。 講 師 松石書道教室 松石 樹泉</p>	受講生 16人
	<p>⑥講座名 「ミニカラオケ講座 一日体験」 日 時 11月15日(火) 10時～11時30分 内 容 演歌、昭和の歌を、歌詞をしっかりと覚え頭に入れることで、歌の持つ楽しさを知る。 講 師 みなみ三郎</p>	受講生 13人
	<p>⑦講座名 「男子キッチン」《全2回》 日 時 1回目:12月24日(土) 2回目:1月14日(土) 全2回 10時～12時 内 容 和気あいあいと楽しく学べる、男性専用の料理教室。 講 師 人材バンク登録者 日高 道子</p>	受講生 16人
	<b>◎地域の魅力発見コース 後期 2講座</b>	
	<p>①講座名 「着せ替えライト」《全2回》 日 時 1回目:9月23日(金) 2回目:9月30日(金) 全2回 10時～12時 内 容 ペットボトルで作った灯具に好きな素材を巻き付けて楽しむ。 講 師 彩り工房 田辺 一美</p>	受講生 9人
	<p>②講座名 「竹で作ろう」《全2回》 日 時 1回目:11月25日(金) 2回目:12月2日(金) 全2回 10時～12時 内 容 竹に好きな模様の穴を開け、照明を取付け、オリジナルの灯籠を作る。 講 師 渡辺 邦彦</p>	受講生 9人
成果・課題	<p>・「はじめてのチャレンジ」での新企画「高校でパソコン教室」は、古賀竟成館高校のパソコン室で開催、講師に高校生をお願いして受講生と1対1で対応してもらった結果、相乗効果で共に良かったのアンケートを得た。</p> <p>・「市民持ち込み企画」も、14講座と応募が増え、いろんな分野から持ち込まれるようになり講座の幅が広がった。</p> <p>・「学び舎コース」の「脳力アップ」については、高齢者の健康増進、認知症予防対策を目的として実施、受講生もその趣旨を理解し積極的な受講態度が見られた。</p> <p>・受講生のリピーター率が19.85%と少ないということは、講座の内容と講座数の多さで新しい受講生が参加していると思われる。</p> <p>・「学び舎コース」の「脳力アップ」は企画内容は良かったのですが、参加者が13人と少なく募集の時点でひと工夫が必要である。</p> <p>・「古賀を巡る歴史」は、講話を中心に開催したが、一部の方は、外の見学にも行きたかったとの意見や、見学がなかったら受講しないと言う一部の意見もあった。</p> <p>・「みんなで歌おう」は、従来の形を替え、いろんなジャンルの演奏、伴奏で歌ったが、従来のアコーディオン伴奏で歌うのが良かったの意見も多く、内容に関して検討課題である。</p> <p>・「講演会」の受講生の参加が少なく、スタッフ会議の中でも検討課題の一つですが、魅力ある講演会にするためにはいろんな情報を集めて受講生が何を求めているかを探る必要があるがもしくは「講演会」の代わりに「学び舎」コースを1コース増やし、若い世代の人が受講できる機会を増やすという方向性も視野に入れてもいいのでは。</p> <p>・現在講座は、平日の参加者が多く、開催曜日が火曜日から金曜日に集中しているが土、日、夜間開催も検討し、若い世代や、就業世代の参加を増やせたらと思う。</p>	

## 平成28年度文化芸術事業報告書(自然史・歴史講座)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会を提供する。		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	下記のとおり
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内 容	<p>第1回 現地学習『船原古墳の馬具に注目!』〔九州歴史資料館〕 日時:6月12日(日) 参加者:41人 内容:古墳の説明及び船原古墳の紹介 遺物調査見学を含めたバックヤードツアー</p> <p>第2回 夏休み子ども歴史講座『船原古墳と馬具のナゾ』〔歴史資料館 中会議室〕 日時:7月27日(水)・7月29日(金)・8月6日(土)・8月17日(水) 参加者:36人 内容:船原古墳出土遺物の最新情報に関する講話 粘土工作及び九州国立博物館のレンタル教材を使った古代体験学習</p> <p>第3回 講演『船原古墳出土馬冑について』〔歴史資料館 中会議室〕 講師:重藤 輝行 氏(佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授) 日時:11月19日(土) 参加者:125人</p> <p>第4回 現地学習『「柳川で古賀の歴史に出会う」～戸次道雪・立花宗茂と薦野氏・米多比氏』 〔柳川市内(三柱神社・福厳寺・米多比隅・宮永様・立花家資料館・柳川藩主立花邸「御花」他)〕 日時:3月24日(金) 参加者:40人 内容:古賀市の史跡案内ボランティアによる解説 柳川市観光ボランティアガイドと巡る現地学習</p>		
成 果 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回講座の現地学習では、船原古墳出土遺物の最新情報を知ってもらうための講演と、遺物調査を見学できるバックヤードツアーを行うことで、市民の船原古墳への関心を高めることができた。</li> <li>・第2回講座では、古墳に係る説明と古代体験活動を交えることで、古賀の歴史を学ぶとともに、船原古墳に対する関心を高めることができた。</li> <li>・第3回講座の講演会では、船原古墳が古墳時代終末期における古墳の意義を考える重要な資料となることについての解説をすることで、市民が船原古墳の価値を再認識することができた。</li> <li>・第4回講座の現地学習では、古賀市ゆかりの武将を取り上げることで、定員を超える申込があった。参加者が意欲的に学習する姿も見られ、参加者の古賀の歴史についての知識を高めることができた。</li> <li>・更なる自然や歴史伝承活動の推進のため、当事業について広く周知を行う必要がある。</li> <li>・現地学習の参加希望者の増加に対する検討を要する。</li> </ul>		



## 平成28年度文化芸術事業報告書(芸術祭)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</li> <li>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	中央公民館 大ホール 歴史資料館 ギャラリー・中会議室
来場者	芸能: 1, 052人 芸術: 635人	参加者	芸能: 77人 芸術: 43点
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	市内の文化芸術活動団体で、師範・師匠クラスの活動発表の場として、展示5日間、舞台発表1日実施。		
	芸能	5月29日 1, 052人	日本民謡大久保会、津軽三味線小山会、箏曲系の会、啓峰吟詠会、クロスパル古賀和太鼓教室、神伝真正早淵流剣詩舞道、扇菊会、美藤会、三千久賀会、茂寿の会、壽駒会、Halau Hula O Hana Aloha、ユカリクラシックバレエ、リトミックサークルいちごみるく、日本歌謡連盟、みさカラオケ教室、ミュージカルオペラk. i.、おかはちとウクレレで歌おう♪、舞の里おやしバンド、Natural ONE
	芸術	25日 78人	日本画・水墨画 5点、洋画 7点、書 15点、陶芸 4点、工芸・彫刻 8点、写真 15点、華道 5点、花卉・盆栽 3点、茶道 1席
		26日 85人	
		27日 67人	
28日 96人			
29日 309人			
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの部門でも、製作者が高齢になられ出展数が減少傾向にある。</li> <li>・「古賀の宝みつけた」コーナーの出展企業、個人の発掘等を検討する必要があると感じた。</li> <li>・写真等撮影場所、作家の思いなど知りたい意見があり、今後検討したい。</li> <li>・スリム化、経費の見直しのため、昨年度まではリハーサルと本番で4日間中央公民館大ホールを使用していたが、平成28年度より3日間に短縮したことで、舞台使用にかかる人件費の削減が出来た。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(文化祭)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。</li> <li>・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	中央公民館 大ホール 歴史資料館 ギャラリー・中会議室
来場者	芸能: 2, 757人 芸術: 1, 198人	参加者	芸能: 47団体 芸術: 156点
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	古賀市で活動する文化芸術活動団体の発表会として、展示を3日間、舞台演技披露を3日間実施。		
	芸能	10月8日 570人	日本民謡大久保会、ねじめの会民謡、絃楽・たのしみ三味線・津軽三味線、古賀三線島唄会、クロスパル古賀和太鼓教室、箏曲系の会、古賀市相撲甚句会、古賀市半面会、正調安来節保存会、啓峰吟詠会古賀支部、啓峰吟詠会古賀第二支部、神伝真正早淵流剣詩舞道、松富士会、三千久賀会、茂寿の会、ばらの会、あすかダンススクール、サンフレッシュダンス、Halau Hula O Hana Aloha、ハラウ フラ オ マカナアロハ、にこにこジャズダンス、よさこい古賀連舞、ユカリクラシックバレエ、福岡ヨーガ道友会、Ring∞Ding Family、女声コーラスコールウィング、日本歌謡連盟、みさカラオケ教室、吉住歌謡教室、ミュージカルオペラk. i.、おかはちとウクレレで歌おう♪、古賀マンドリンクラブ、舞オカリナ教室、大正琴アンサンブルポピー 【市民の部】 古賀キッズプラス、古賀市市民劇団DAICOON(子ども)、久保家
		9日 1, 151人	
		10日 1, 036人	
	芸術	5日 96人	洋画 1点(洋画の会)、日本画 10点(蒼墨同好会、グループ「藍」日本画・古賀教室)、書 44点(川口書道教室、さざなみ会、一五会、愉の筆)、陶芸 53点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会)、写真 7点(写団こが)、工芸 13点(ふしぎな花俱樂部押し花サロン華、押し花幸葉、文芸 7点(しきなみ短歌会)、茶道 1席(翠芳会)、華道 16点(池坊の会、小原流瑞穂の会)、園芸 4点(古賀市花卉盆栽同好会)
		6日 110人	
7日 127人			
8日 299人			
9日 260人			
10日 306人			
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より中央公民館、交流館、歴史資料館・図書館が繋がったことや、展示期間を増やしたことで、芸術部門に関しては入場者数増につながったが、案内板表示等市民の皆さんより非常に分かりにくかったという意見を多く聞いたため、来年度は意見を参考に、看板や会場案内の表示場所を検討し、もっと分かり易い表示を考えていく。</li> <li>・作品の種類が書、陶芸、日本画、洋画、写真に偏り工芸等の出品が少なく出展PRを進めたい。</li> <li>・平成28年度より展示期間を増やしたことで入場者数は増えたが、受付等の負担が大きく、検討の必要がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(コンサート)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図る。</li> <li>文化芸術に関する情報を収集・提供し、意見交換や交流が出来る場を作り、ネットワーク形成を支援する。</li> <li>生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞する機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。</li> </ul>			
日時	下記詳細	会場	交流館 フォーラム 他	
来場者	1,198人	参加者		
担当課	文化課	担当係	文化振興係	
内容	カフェで聞くように、気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が交流できるコンサート。 文化協会会員及び公募により出演者を決定する。			
	土曜日	サロンコンサート	13時30分～15時	
	5月21日	若葉が目にも鮮やかです	54人 古賀マンドリンクラブ 絃楽津軽三味線	
	6月18日	梅雨空を吹き飛ばそう!	71人 古賀市市民劇団DAICOON 舞の里おやじバンド	
	7月16日	天の川・琉球の風にのせて	135人 琉球舞踊 木村清美 他 古賀三線島唄会	
	8月6日	ひぐらしの声に涼味	189人 おかはちとウクレレで歌おう♪ Hana ALOHA	
	9月24日	名月を愛でて	187人 舞オカリナ教室 女声コーラスアマービレ	
	11月12日	ちょっと贅沢サロンコンサート (歴史探訪バスツアー+鬼王荘ランチ)【有料】	53人 おかはちとウクレレで歌おう♪	
	12月17日	ジングルベルを聴きながら!	180人 ユカリクラシックバレエ ゴスペル集団「オールフルーツ」	
	1月21日	初春のよろこび	159人 Ring∞Ding Family 箏曲系の会	
	2月18日	梅のつぼみもふくらんで	96人 日本民謡大久保会 大正琴アンサンブルポピー	
	3月18日	早春の風に誘われて	74人 Natural ONE 女声コーラスコールウィング	
	木曜日	ランチタイムコンサート	12時30分～13時	
		8月18日	60人	芳賀 史江
		8月25日	90人	女声コーラスアマービレ
		9月15日	107人	コガレレ
		10月20日	92人	Natural ONE
		11月17日	95人	井口バンド
		11月24日	61人	古賀市マンドリンクラブ
		12月15日	85人	ミュージカルオペラk.i.
	1月19日	79人	舞オカリナ教室	
	2月16日	71人	古賀市マンドリンクラブ	
	3月16日	84人	ミュージカルオペラk.i.	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援課の高齢者外出促進事業への参加の反響が大きく、全体の2分の1がリピーターである。</li> <li>交流館フォーラムを会場としているため、コンサート目的ではない通りすがりの人も足を止めてコンサートを聴いている。</li> <li>発表の場を提供したことで、出演者からは「励みになる」との言葉をいただいた。</li> <li>1月～3月は寒い時期なので、出演者からの要望で交流館多目的ホールを会場としたが、交流館フォーラムのように通りすがりに聴くということが出来ず、部屋へ入らなければならないため、観客が少なかった。</li> </ul>			

## 平成28年度文化芸術事業報告書(童謡まつり)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力幅広い世代に伝える。</li> <li>・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。</li> </ul>		
日時	平成29年2月26日(日)	会場	中央公民館 大ホール
来場者	4, 685人(出演者除く)	参加者	出演者: 1, 168人
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p>公募により、エントリーした各団体が童謡の演奏・歌を披露するほか、みんなで歌おうコーナー、独唱コンクール(平成28年度は4歳～小学校6年生がエントリー)等を実施。</p> <p>なお、当日のステージのバックボードは古賀竟成館高等学校の美術部が作成。</p> <p>独唱コンクールにおいては、こども美術展と合同で表彰式を実施。</p>		
	合唱出演団体	古賀東小学校琴クラブ、ヒマラヤ王子・王女合唱団、ハンドベルグループカトレア、古賀新宮子ども劇場、、やまびこ幼稚園、花鶴丘幼稚園、花見南童謡クラブ、ユカリクラシックバレエ、エコーすみれ、花見光保育園、NaturalONE、桜草、芳賀史江、Chorまつぼっくり、天照幼稚園、古賀マンドリンクラブ、勝田 友彰、リトミックサークルいちごみるく、絃楽・たのしみ三味線・津軽三味線、久保保育園、古賀市コッコの会、おかはちとウクレレで歌おう♪、女声コーラススクールウイング、舞オカリナ教室、りんコール、大正琴アンサンブルポピー、七色のおんぶMusicRoom♪、女声コーラス・アマービレ&セピア、暁の星幼稚園	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別ゲストで岡部八郎さんから提供された「古賀めぐり」の新作発表会を組み入れたが、大変好評だった。</li> <li>・RKBの「ピンチーズ」の生放送が入ったことで盛り上がった。</li> <li>・みんなで歌おうのコーナーで、昨年度は先生が詩吟で歌い、来場者には普通に歌わせていたが、今年度からは共に詩吟で歌わせたところ、面白いと非常に好評だった。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(こども美術展)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもの作品にふれる機会を提供する。</li> <li>・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。</li> </ul>		
日時	平成29年2月22日(水)～26日(日)	会場	展示: 歴史資料館 ギャラリー・中会議室 表彰: 中央公民館 大ホール
来場者	1, 421人	参加者	絵画・書の出展数: 521点
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	市内小中学校の子どもたちの絵画と書を募集し、審査後、5日間展示及び最終日には表彰をする。子どもの視点を取り入れるため、子どもが作品を選ぶ「こども大賞」を実施。		
	絵画	小学校=242点 中学校=21点	審査員 原 小夜 氏(福岡県美術協会会員) 藤川 麻利 氏(古賀竟成館高等学校教諭)
	書	小学校=223点 中学校=35点	審査員 芝 武治 氏(福岡県美術協会会員) 二宮 欣山 氏(福岡県美術協会会員)
	こども大賞	投票数: 158人	展示中に投票を行ったため、後日表彰
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入賞作品を新たに設置されたJR古賀駅美術館に展示したことで、入賞者に喜ばれている。</li> <li>・書道塾の先生方の協力で書の出展が増え絵画、書の展示バランスがよくなった。</li> <li>・こども大賞も2年目でこどもの鑑賞増に結び付けた。</li> <li>・作品出展数を設けていたが、学校の負担が大きいこと、学校ごとに大きく人数が違うこと、また多くの作品が子どもたちから出た場合、学校で審査をして設定された出展数分を選出していたことがわかり、そのことにより子どもたちや保護者に混乱が生じたことなどを考慮して、次年度からは出展数の設定を取り払い、文化協会ですべて審査、2次審査を行い、作品の選定を行うこととした。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	青少年の健全育成のため、古賀市内で活動している青少年育成団体・古賀市外で古賀市内の子どもたちが活動している青少年育成団体が集い、子どもたちのイベントを実施することにより、子どもたちに体験の場を設ける。また、企画・運営をとおして、育成団体相互の連携を深め、今後の活動に活かしていく。		
日時	11月27日(日)10時～15時	会場	交流館 市立球戯場 他
来場者	2,450人	参加者	ステージ発表:15団体 体験:20団体 模擬店:5団体
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館大ホールにて、オープニングイベント(開会行事及びアトラクション:玄海古賀太鼓)を開催し、引き続きダンス・演奏等の日頃の成果を披露する子どもたちによるステージ発表。</li> <li>・リーパズプラザ大ホールでのイベントは古賀中学校生徒会による司会にて進行。</li> <li>・交流館では、マジック・工作・車椅子体験・演劇体験などの体験・もの作りを実施。</li> <li>・模擬店にて、うどん・カレー等を販売。</li> <li>・子どもたちに、わくわくクリーン隊を募集しイベント会場のごみの回収を行った。</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の育成に関する団体が集まって、官民協働の事業となっている。</li> <li>・年々参加者は増加傾向にある。市外からの来場者も増加傾向にある。</li> <li>・ステージ発表のレベルが年々上がってきている。全国大会に出場した団体もある。</li> <li>・天候等に左右されるため、準備等が難しい。</li> <li>・内容が固定化しているとの声がある。</li> <li>・ステージ発表の観客が少ないとの声がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(古賀の魅力再発見コンテスト事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期 — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	市民が景観やまちづくりに関心を深め、郷土を大切に作る心を育てる。		
日時	6月からおおむね半年間募集	会場	
来場者		参加者	市民全般
担当課	都市計画課	担当係	土地利用政策係
内容	<p>「景観まちづくり教育プログラム」の一環として、市民が普段見落としている地域の魅力や自慢できる点を再発見できる機会として、絵画と写真によるコンテストを実施。</p> <p>作品の募集と審査、受賞者へ表彰状と副賞の授与のため表彰式を実施。</p> <p>部門それぞれに最優秀賞、優秀賞(2点)、佳作(2点)、特別審査員賞(2点)を設け、受賞者は21名。作品は古賀市役所市民ホール、千鳥苑、九州産業大学、アクロス福岡等で入賞作品の作品展を開催。</p> <p><b>【絵画部門】</b>                  ①一般の部(中学生以上)      ②ジュニアの部</p> <p><b>【写真部門】</b>                  一般の部 (制限なし)</p>		

成果  
課題

平成28年度は365点の応募があったが、中にはコンテストの趣旨と若干違う作品があったので、学校の担当の先生方を通じて周知徹底する。

## 平成28年度文化芸術事業報告書(地域人権啓発事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	人権課題を主軸にした事業を企画・実施し参加する市民に対し啓発を行う。		
日時	下記のとおり	会場	隣保館 高田教育集会所 ししぶ交流センター(ししぶ集会所)
来場者		参加者	
担当課	隣保館	担当係	
内容	<p><b>【じんけん平和教室】</b>  対象:市内全小学生(参加者:34名)  開催期間:夏休み期間中6日間  内容:大刀洗飛行場にて、8月9日長崎フィールドワークを中心に事前事後の学習を行い、命・平和の大切さを学ぶことで人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p><b>【ひだまりパスポート】</b>  対象:市内全小学生(参加者:57名)  開催期間:9月～2月の間の5日間  内容:福岡県在住の外国の方、青年海外協力隊などで外国生活経験された日本人の方などを講師として迎え、文化などの違いを感じることで人権感覚を養う事業。</p> <p><b>【韓国文化講座】</b>  対象:市内在住または勤務地を有する高校生以上の全市民(参加者:15名)  開催期間:9月～3月までの間の計21回  内容:韓国の文化や過去現在の社会情勢などを含めた学習、また船原古墳などの日本と韓国の文化交流等が学習できる地域へのフィールドワークを実施し、一番近い国のことを知ることで、人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p><b>【生き生き音楽校】</b>  対象:会場近隣市民(参加者計:74名)  開催期間:6月～3月までの間の計20回  内容:音楽(合唱・合奏・聴くこと)を通し、地域交流や介護予防などにつなげる。</p> <p><b>【ひだまり館まつり】</b>  対象:市民(参加者:約140名)  開催期間:年1回  内容:隣保館で行う事業などの成果の発表や、館内人権啓発パネル等による啓発。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じんけん平和教室では、参加した小学生一人ひとりが、戦争の悲惨さや平和の尊さを認識することで、自分や自分の周囲の人(友だちや保護者)の大切さを学んでいた。</li> <li>・ひだまりパスポートでは、講師が、その国と日本の文化の違いや、それにより困ったことなどを子どもたちが認識することで、相手を思いやる気持ちを育むことができた。</li> <li>・韓国文化講座では、日本と韓国の文化の違いを知ること、違いを認識し、理解を深める姿が見受けられた。</li> <li>・生き生き音楽校は、参加する市民の交流の場として、広がってきている。</li> <li>・ひだまり館まつりでは日頃来館されない市民の方の来館があり、人権啓発等に関して自然な感じでできている。様々な発表や啓発物などに触れることで、それぞれの知識や人権意識は高まってきている。各事業において、参加者の知識や人権意識は高まってきているものの、その内容を更に広げる形にはなれていない部分も感じられるため、学んだことを他の人たちへ広げられるような意識づくりや環境づくりが必要と考える。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(読書ノート事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	子どもたちが市立図書館や学校図書館を利用するきっかけとなるよう、また、本に親しみ、楽しむことで、豊かな心や生きる力を育むことができるよう、読書歴を記録していくことができる読書ノートを配布し子どもの読書活動の推進をしていく。		
日時	5月13日(小野小学校) 5月31日(古賀西小学校) 6月1日(青柳小学校) 6月2日(花鶴小学校) 6月7日(古賀東小学校) 6月8日(千鳥小学校) 6月10日(花見小学校) 6月15日(舞の里小学校)	会場	各市立小学校
来場者		参加者	市立小学校に通う新1年生:600人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<b>【小学校1年生への読書ノート配布事業】</b> 市内新小学1年生を対象に、市立図書館及び学校図書館で借りた本の書名や作者、感想等を記録することができる読書ノートを作成、配布した。1年生におすすめの本を選び、リストも掲載した。配布については、各小学校へ市立図書館司書が出向いて、おはなし会を実施した上で行った。希望する学校へは、図書館マスコットキャラクターのこちゃん(着ぐるみ)から読書ノートをプレゼントした。		
成果課題	・市立小学校8校へ出向き、おはなし会を行った後、読書ノートを合計600冊配布した。配布後、市立図書館で借りた本の記録シールをもらう子どもの姿が見られると共に、記録をつけた子どもが2冊目の読書ノートをもらいにくることもあった。 ・今後は、古賀市内の県立特別支援学校に通う新一年生へも配布をし、読書活動の推進を図りたい。		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(中学生読書サポーター事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	読書の大切さや面白さを子ども達同士で伝え合い、校内や公共図書館内で発信することのできる「中学生読書サポーター」を養成し、読書習慣の定着や読書環境の充実を図る。		
日時	養成講座:3日間 7月22日(金)、8月4日(木)、8月23日(火) 学校や地域での活動は各自	会場	養成講座:図書館他 活動:各学校 各地域
来場者		参加者	中学生 4人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<b>【中学生読書サポーター養成講座】</b> 第1回 7月22日 開講式、図書館見学、情報交換。 第2回 8月4日 中学生おすすめの本コーナー作りのための話し合い。 第3回に実施するPOP作りの為の選書。 第3回 8月23日 POP講習会、コーナー作成、閉講式(終了証授与) 事業終了後、校内、公共図書館内、地域等において読書活動の普及活動を行う。		
成果課題	・「福岡県子どもの読書活動充実事業」の補助を受けながら、4名の中学生読書サポーター養成講座を実施した。 ・図書館の事業「子ども読書の日イベント」において取り組んだ「お楽しみ袋貸出」にて、中・高生におすすめの本のセット作りにサポーターを活用した。 ・今後、当事業を活用して学校内での読書の普及活動を進めたい。		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(アート・バス)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	古賀市内の小中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。 ボランティアの募集も兼ねた大人を対象としたアート・バスも実施。		
	6月25日(土)	市内全中学校	福岡県立美術館 「常設展」 「児島善三郎と独立美術協会」
	10月2日(日)	市内全小学校	福岡アジア美術館 「常設展」
	11月7日(土)	スタンドアローン 事業に参加する生徒	福岡県立美術館 「常設展」 「コレクション展Ⅱ／特集 山喜多二郎と高木秋子」
	12月19日(土)	スタンドアローン 事業に参加する生徒 市内全中学校美術部	九州産業大学美術館 「九州産業大学芸術学部大学院 芸術研究科卒業・修了制作展」
	2月21日(日)	大人 (一般市民)	福岡県立美術館 「写真家片山攝三 肖像写真の軌跡」
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人を対象に実施したが、参加者のほとんどが過去に美術館への来場経験があり、美術館へ行くためのきっかけ作りとしての意義はあまりない。また、ボランティア募集を目的の一つとして実施していたが、ボランティア希望者がいなかった。今は自由鑑賞の時間を長くとするプログラムにしているが、さらにボランティア育成を組み入れた内容にする必要がある。</li> <li>・現在、九州産業大学の学生にボランティアを依頼しているが、参加人数が減少しつつある等の理由から、他学校へのボランティア募集を行ったところ、福岡教育大学からも希望者がいた。</li> <li>・今回、コラボとして他部局の事業と共同で行い、そちらの事業の参加者からアート・バスの参加者を募るという方法をとったが、予想以上に参加人数が集まらず、今後はコラボのやり方を見直す必要がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(読書推進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	読書に対する興味・関心を高め、豊かな心を育てる		
日時	随時	会場	学校図書館
来場者		参加者	保護者 児童 生徒 教職員
担当課	学校教育課	担当係	指導係
内容	図書委員会の運営事務 おはなし会事務(企画への参画・講師依頼・実施) 読書週間事務(企画への参画・広報・実施)		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の時間に本の調べ方、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行うことにより、読書指導の充実を図ることができた。</li> <li>・地域ボランティア、保護者ボランティアを積極的に活用することが児童・生徒の読書の推進につながった。また、朝の活動で新聞学習、朝読書を取り入れることで知識欲、読書力がついた。</li> <li>・年3回～4回の読書週間を毎年行うことにより、読書週間を楽しみにする児童が多くなった。</li> <li>・読書推進は学校全体で行うことが大切であり、教職員全員が共通意識を持って取り組むことが課題。</li> </ul>		



## 平成28年度文化芸術事業報告書(青少年活動推進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	土曜日の子どもの居場所づくりを主目的に、青少年の体験活動の推進の一環として、主に工作をとおして子どもたちの創造性を育む。		
日時	毎月第3土曜日(変更等あり)	会場	青少年総合センター
来場者	小・中学生:204名 大学生:63名	参加者	市内の小中学生 九州産業大学生
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月16日(土) オリジナルバッジをつくろう</li> <li>・5月21日(土) ラケットでキャッチアンドリリースゲーム</li> <li>・6月18日(土) 梅雨の風景をつくろう</li> <li>・7月16日(土) 「ゴーゴーマイカー」～リサイクルを学ぼう</li> <li>・8月20日(土) 「ツルツル」～プラパンで立体物をつくろう</li> <li>・9月17日(土) 「色ぬりデッサン」～ものをよく見て絵をかけるようになろう</li> <li>・10月15日(土) 「マイおかしバスケット」～自分で愛着のわくバッグをつくろう</li> <li>・11月19日(土) 「ギガントしようぜ」～昔のあそびにふれよう</li> <li>・12月17日(土) 「サンタさんになろう」～完成を想像して中身と外側をつくろう</li> <li>・1月21日(土) とけない雪だるま</li> <li>・2月18日(土) ゆかいななかまたち</li> <li>・3月18日(土) とびだすメッセージカード</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州産業大学の学生が、毎回工夫をこらし2時間という限られた時間の中で効果的な指導をしてくれており、参加者にも好評を得ている。</li> <li>・家であらためて保護者と楽しむことができる。(家庭内のコミュニケーションに活用できる。)</li> <li>・近いところの子どもは、気軽に来れるが、遠い場合は、保護者の送迎が必要なため参加者に地域的なばらつきがある。</li> <li>・対象が小学生全般なので、高学年にとっては少し物足りなく、また低学年にとっては少し難しいという状況が稀にある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(青少年音楽活動支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	平成2年に開催された「とびうめ国体」を契機に誕生した「小野小学校マーチングバンド」を前身とする古賀市内の小中学生を対象として、音楽に親しめる環境を提供する「古賀キッズプラス」を支援する。		
日時	毎週火・木曜日	会場	小野小学校 せんだんホール
来場者		参加者	12名
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	平成28年4月	あおやぎ祭り	
	平成28年7月	JA粕屋北部プラザ夏祭り	
	平成28年8月	小野校区夏祭り	
	平成28年8月	笑顔のつどい	
	平成28年10月	古賀市民文化祭	
	平成29年1月	第27回九州小学校管楽器演奏会(福岡市民センター)	
	平成29年2月	第18回九州スチューデントジャズフェスティバル(西市民センター)	
	平成29年3月	第14回定期コンサート(交流館) 他	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が音楽に親しめる環境を提供し、豊かな情操を育むことができている。</li> <li>・市のイベント等に参加することにより、イベントを盛り上げる一助となっている。</li> <li>・部員の確保が困難である。現在は、小学生だけのバンドであるが、今後は、中学生を対象とすることも検討している。</li> <li>・指導者が1名のため、練習回数が確保しにくい。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(生き生き音楽校事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者が音楽活動を通し、仲間と共に楽しみながら認知・嚥下・口腔・肺機能の維持向上を図り、介護予防を推進する。		
日時	各地域において実施	会場	行政区公民館 等
来場者		参加者	3,750人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【人材育成】 介護予防音楽サポーター養成講座・介護予防サポーター養成講座。</p> <p>【サポーター活動】 音の輪会・ファーストペンギン。</p> <p>【体験会】 地域で鍵盤ハーモニカを使った音楽校を体験できる。</p> <p>【鍵盤ハーモニカの貸出】 地域で音楽校を行うが、家でトレーニングできるように貸出を行う。</p> <p>【教材作成】 高齢者向け介護予防音楽テキスト作成。</p> <p>【地域活動】 公民館で音楽を使った介護予防活動を行う(鍵盤ハーモニカも含む)</p> <p>【交流の場】 「生き生き音楽交流会」地域で音楽介護予防活動を行っている団体の交流会</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカを導入したことにより、地域の音楽を通じた介護予防活動が広がった。</li> <li>・地域支援を行うサポーターを養成したことで、住民主体の活動が充実してきた。</li> <li>・地域の活動が活性化すると、地域支援を行う人材不足が課題となってくる。人材育成が最も大切であり、その教材が必要となる。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(視聴覚資料利用促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市民・図書館利用者に対して、図書館が所蔵している視聴覚資料の上映を行うことで、作品を楽しく鑑賞してもらうことや映画の楽しみを知ってもらう。		
日時	名画会: 第2土曜日 子ども映画会: 第2日曜日	会場	歴史資料館 中会議室 他
来場者		参加者	名画会: 420人 子ども映画会: 175人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>図書館が所蔵している視聴覚資料(上映許諾権付)を「名画会」「子ども映画会」として上映する。上映にあたっては、参加者のニーズと上映権の許諾を考慮して作品や文化的価値がある作品、評価が定まった作品を選ぶ。</p> <p>【名画会】 第2土曜日 14時～開催 各月1回 年間12回</p> <p>【子ども映画会】 第2日曜日 14時～開催 各月1回 年間12回</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名画会については、介護支援課の外出促進事業に参加したことにより、それをきっかけとして参加者数が増加し、リピーターになってくれる人がいた。</li> <li>・子ども映画会については、上映した作品に関連した図書資料の貸出が増加し、貸出促進が図られた。</li> <li>・子ども映画会の参加者数が減少している。事業のアピールや作品選択について検討の必要がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(地域文庫・読書ボランティア支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	地域文庫や読書ボランティア団体に対して、図書館資料の団体貸出やスキルアップの為の研修等を実施し、地域での読書活動の活性化を促す。		
日時		会場	各文庫や各読書ボランティアの活動場所
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【地域文庫への配本】 市内の公民館や集会所や児童館にある6つの地域文庫へ図書館資料を年3回、300冊まで(児童書200冊・一般書100冊)を限度とした配本を実施。</p> <p>【文庫連絡会】 年3回実施(1回は、おはなし会スペシャル)し、情報交換や交流を実施。</p> <p>【ボランティア養成講座】 布の絵本ボランティア「つくしんぼ」を講師として「おはなし会の小道具づくり」(全4回)を実施。参加者は延べ89人。</p> <p>【読書ボランティア交流会】 小グループでの情報交換等を実施。</p> <p>【読書ボランティア団体への支援】 地域ボランティア活動支援のための助成事業等の案内や各地域での研修会や講演会等の情報提供を行った。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文庫へ図書館資料を団体貸出することにより、文庫の自主的な活動を促し、図書館を利用することが難しい利用者への読書活動を市内各地域へ広げることができた。(貸出冊数は1,967冊)</li> <li>・読書ボランティア交流会を実施することで、各ボランティア同士の交流ができ、以後の活動に繋がった。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(視覚障害者読書支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市内視覚障害者に対して、朗読ボランティアが録音した資料を活用し、読書の楽しみや情報の提供などを実施する。		
日時	不定期	会場	図書館
来場者		参加者	6件
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>・朗読ボランティアが録音したテープや図書館の資料(カセットブック録音図書)を無償郵送システムを使って視覚障害者へ提供する。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6件の依頼を受け視覚障害者の方へ配送を行った。</li> <li>・活用件数が徐々に減少しており、広報や周知を行う必要があると思われる。</li> <li>・マルチメディアDAISYの活用推進及び周知が必要である。</li> </ul> <p>(マルチメディアDAISYは、現在広く流通している音声DAISYのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ(同期)して出力され、パソコンで利用できる。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できるアクセシブルなデジタル図書)</p>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている千鳥児童センターで、その利用者が自発的にイベントを企画、実施することにより、日頃の練習の成果の発表及び交流の場とする。		
日時	10月30日 15時～18時	会場	古賀市千鳥3丁目3番7号 千鳥児童センター(コスモックス)
来場者	千鳥児童センター利用者 利用者OB及び関係者(保護者、友人等)	参加者	151人
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	利用者(高校生)が実行委員会を組織して、イベントの企画・立案・当日の運営まで行う。		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異世代との交流が図れる。</li> <li>・イベントの企画～実施までを行うことにより、企画力、調整力、協調性など青少年の能力開発に資することが期待できる。</li> <li>・広報等で周知しているものの、イベントの内容(音楽、ダンス)から参加者は施設を利用している者(小・中・高校生)やその友人等に限られてしまう傾向にある。</li> <li>・利用者が主体となり企画・立案するイベントであるものの、どうしてもセンタースタッフに頼りがちになり、スタッフが主導することとなる。</li> <li>・ごみを持ち帰らない等公共施設を利用するうえでのマナーが欠如しており、どのようにしたらマナー向上につながるかが今後の課題である。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子相談事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	同年齢の子どもを持つ親同士の交流や情報交換などをして、子育てに関する不安や悩みを軽減する。		
日時	7ヶ月っこ広場、1歳誕生広場: 月1回 骨密度測定10時～10時30分 1歳誕生広場: 10時30分～12時※月1回 2歳元気っこ広場: 10時～12時 年6回	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール
来場者		参加者	乳幼児数: 448人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべうた、手あそび、読み聞かせ等の親子遊び。</li> <li>・7ヶ月児の生活リズム習得の啓発、身体測定、親同士の交流。</li> <li>・誕生カード作り、誕生会(1歳誕生広場)</li> <li>・生活リズム習得への啓発、身体測定。</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4カ月児健診、10カ月児健診の合間に事業を開催することで、健診前に相談しやすい体制となっている。</li> <li>・同じ月齢の子どもを持つ保護者が参加されることで、親同士で情報交換ができ、友達づくりのきっかけとなっている。</li> <li>・市の様々な相談窓口を紹介できるとともに、年齢に応じた事業の紹介をしており、適切な支援につなげている。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子居場所提供事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の親子が気軽に利用し、交流を通じて情報交換や仲間づくりの場を提供する。</li> <li>・育児相談等を実施し育児負担の軽減や支援機能の充実を図り子育て支援を行う。</li> </ul>		
日時	月曜日～金曜日 9時～16時	会場	サンコスモ古賀内 つどいの広場「でんでんむし」
来場者		参加者	乳幼児数:8,780人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<p>0歳～就学前までの子育て中の親子を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの場の提供(わんぱくタイム)</li> <li>・親同士の交流の場の提供。</li> <li>・スポットタイムとして、わらべ歌、親子あそび、造形活動、ふれ合いあそび、指先あそび、音楽あそび、絵本読み聞かせなど提供。</li> <li>・子育て情報の提供として、でんでんむしだより、遊びの紹介、地域の子育て支援事業等。</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み等の長期休みに実施した「わんぱくタイム」により利用者が増え、情報交換や保護者同士のつながりの場となっている。</li> <li>・赤ちゃん訪問や広報誌、ホームページでの紹介、くちこみ等で、市内のみならず市外の利用も増えてきた。</li> <li>・係内(全戸訪問事業、発達ルーム事業、家庭児童相談)の連携をはじめ、予防健診課等との連携も深まり、養育支援家庭や気になる親子の見守りが充実している。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(地域介護予防推進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者の健康づくり・生きがいづくりなど活動を地域で推進するために、その役割を担うサポーターを育成し、住民主体による地域介護予防活動の活性化を図る。		
日時	各地域において実施	会場	各行政区公民館 等
来場者		参加者	約13,584人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【運動関係介護予防活動】(ニギニギ体操・家トレ・ボールゲーム・ストレッチ体操等) 介護予防運動サポーター養成講座・介護予防運動サポーター連絡会・地域介護予防運動活動・ボールピック・運動やってみ隊活動支援。</p> <p>【音楽関係介護予防活動】(音楽レクリエーション・鍵盤ハーモニカ等) 介護予防音楽サポーター養成講座・介護予防音楽フォローアップ研修・地域介護予防音楽活動・音の輪会活動支援。</p> <p>【出前講座】 古賀市出前講座・ゆい出前講座</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・域活動サポートセンターを拠点に人材育成を行い、地域公民館において住民主体の介護予防活動が活性化している。</li> <li>・地域介護予防を行う地域と行わない地域との格差が出てきており、地域のニーズを把握し、立ち上げ支援を行っていく必要がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(ねんりんスポーツ・文化祭)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	・福岡県在住の高齢者の文化・スポーツの活性化を図る		
日時	各事業	会場	各会場
来場者		参加者	65歳以上の高齢者
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	県と連携しながら、ゲートボール、グランドゴルフ等のスポーツ競技や囲碁、将棋、美術展等の文化イベントへの参加を促し、表彰を行う。 ねんりんピックの情報を老人クラブや各関係団体に周知を行った。		
成果・課題	・高齢者の優れた能力を生かした、ねんりんピック活動は、国・県が行っている事業である。市町村が行うのは、啓発と関連事務である。古賀市で行う事業と違って、企画等に係ることはない。成果課題が見出しにくい。		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	介護予防及び生活支援に資する事業を地域において実施し、もって高齢者等の健康の増進及び社会参画の促進を図る。		
日時	地域活動の拠点として 月曜日～金曜日開館(祝日閉館)	会場	地域活動サポートセンター
来場者		参加者	60歳以上の高齢者 利用者数3,013人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>平成28年度より、「ゆい」の機能を地域介護予防・日常生活支援の推進拠点として再整備を行う。活動の場を行政区の公民館や集会所等とし、地域活動を支援する、介護予防サポーターの育成を行い、地域活動の活性化を行う。</p> <p>【地域支援活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サポーター事業(運動・音楽・その他)</li> </ul> <p>【デイプログラムによる人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食づくり</li> <li>・パソコン教室</li> <li>・歴史講話</li> <li>・筆ペンで遊び</li> <li>・抒情歌</li> <li>・パステルアート</li> <li>・太極拳&amp;気功</li> <li>・季節の絵手紙</li> <li>・木目込みアート</li> <li>・畑づくり</li> <li>・手芸&amp;ビーズ</li> <li>・男の料理教室</li> <li>・世代間交流</li> <li>・ハーモニカ&amp;鍵盤ハーモニカ</li> </ul>		
成果・課題	・いきいきセンターゆいは、高齢者の生きがいづくりの場として、デイプログラム中心に行ってきた。平成28年度より介護保険の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業を開始したことに伴い、名称を「地域活動サポートセンター」とし内容を充実させ、地域支援事業の拠点とした。スタッフも運動指導士・作業療法士・保健師を置き、地域の介護予防活動の充実を図る。そのことによって、今までセンターで行われていた高齢者の集いの場が、身近なところで展開されていくことをめざしている。		

平成28年度文化芸術事業報告書(高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	・高齢者の生きがいづくり、介護予防、レクリエーション及び世代間交流並びに地域支援の向上に資する市民活動を支援を行い、介護予防の推進を図る。		
日時	開催日:87日(不規則)	会場	高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわ)
来場者		参加者	810人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【えんがわくらぶ】  活動状況:年間58回 延参加者数:627人  活動内容:平成28年度より、高齢者の生きがい活動を行う自主団体となる。活動は、東小学校の児童との年間を通した、交流活動と趣味活動や健康講座などを開催。介護予防の鍵盤ハーモニカを12月より導入する。</p> <p>【カチカチ会】  活動状況:約月2回(年間29日) 延参加者数:183人  活動内容:古賀市の民話を掘り起こしを行い、大型紙芝居を作成。子どもから大人まで、様々な方に語り継いでいる。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧用務員宿舎なので、学校敷地内にあり、東小学校の生徒との交流が自然とうまれている。</li> <li>・えんがわクラブが自主団体として自立をした。</li> <li>・カチカチ会の活動が始まり、活動内容が充実してきた。</li> <li>・えんがわでの活動がない日があるので、児童との交流に適切な高齢者団体に、学校と連携し声かけを行っていきたい。</li> </ul>		

平成28年度文化芸術事業報告書(介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	65歳以上の高齢者に対し、生きがい活動としての各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防する。		
日時	火曜日～土曜日(10時～15時)	会場	社会福祉センター 千鳥苑 しゃんしゃん
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 3,252人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら日常生活を意識した運動。</li> <li>・生活に密着した内容の講座開催。</li> <li>・食べることを楽しみに、栄養のバランスが取れた食づくり。</li> <li>・昔好きだったこと、チャレンジしたいこと等、個性を大事にした趣味活動。</li> </ul> <p>【活動内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事 ・手芸活動&amp;芸術活動 ・園芸活動 ・世代間交流</li> <li>・各健康教室(口腔衛生・認知症予防・食事に関する教室等)</li> <li>・体操に関する教室(体操レクリエーション・いきいき体操・ヨガ等)</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度より、古賀市では介護予防・日常生活支援総合事業を開始した。それに伴い、今まで介護認定を持たない人の支援の場であったが、要支援者を受け入れることとした。</li> <li>・しゃんしゃんで行う様々な活動を通し、高齢者が生きがいをもち楽しく取り組むことにより、心身を健康に保ち、介護予防が図れた。</li> <li>・参加者が増えてきたが、部屋が狭く、これ以上は受け入れない状況がある。</li> </ul>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(介護予防支援センター(りん)管理運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者に対し、生きがい活動等の介護予防支援事業を実施し、高齢者等の健康の保持増進及び向上を図る。		
日時	月・木・金曜日 10時～15時 火・水曜日不定期	会場	ふれあいセンターりん
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 延3,639人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>「ふれあいセンターりん」では古賀市にお住いの、概ね60歳以上の方を中心に、ものづくりや生きがいづくり、仲間づくりを行っている。</p> <p>【生きがい活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工(毎週木曜日)</li> <li>・革細工(毎週月曜日・金曜日)</li> <li>・紙バンド教室(月1回)</li> <li>・ウクレレ教室(月2回)</li> <li>・折り紙教室(月1回)</li> <li>・布草履づくり(月2回)</li> <li>・コーラス(月1回)</li> <li>・絵画(月1回)</li> <li>・押し花(月1回)</li> <li>・ヨガ</li> <li>・太極拳</li> <li>・その他(次世代交流活動 等)</li> <li>・フラダンス</li> </ul>		
成果・課題	<p>・ふれあいセンターりんでは、香椎イオンにおいて、参加者が作成した木工・革細工・手芸品等を定期的に販売している。「りん」ブランドとして販売し、平均1回4万円程度の収入になり、製作者の意欲を高めている。</p> <p>・りんでの学んだ活動を、高齢者施設にて発表するなど、活動の広がりがある。</p> <p>・参加者の固定化があり、新規の会員を増やすために体験会を28年度より強化したが、なかなか継続利用に結びつかない。</p>		

## 平成28年度文化芸術事業報告書(外出促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — ざわめきづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	高齢者の外出を促すことで、誘い出しのきっかけづくり、地域参加のきっかけ作り、地域とのつながりづくりを行い、社会参加の推進、引きこもりと孤立化を防ぎ、介護予防を推進する。		
日時	各活動にて実施	会場	各活動にて実施
来場者		参加者	約12,000人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀市のイベントや地域活動を掲載した「お出かけハンドブック」を作成。</li> <li>・ハンドブックに掲載されたイベントに参加した人に、シールを配布。</li> <li>・5枚集めて、抽選に応募する。</li> <li>・健康グッズや古賀市の商品が当たる。</li> </ul>		
成果・課題	<p>・古賀市で行われているイベントや地域活動がハンドブックに掲載されることで、見える化が図られ、啓発効果が高まった。また、抽選を行うことで、参加意欲が高まっている。</p> <p>・抽選商品を古賀市の特産にすることで、古賀市の産業の啓発にもなっている。</p> <p>・この取り組みが、高齢者限定であるため、より広げていくためには、観光や商工が取り組み、年齢枠を外すことも視野に入れていくと市の活性化につながると思う。</p>		



# 平成28年度文化芸術事業報告書(レッツトライ！プロジェクト)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — ざわめきづくり — 行政がおこす — 短期 環境づくり — — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。</li> <li>・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p>コーディネーターの坂崎隆一氏に協力いただき、参加者が様々な視点からの話を聞けるように、講師を回毎に変えて実施。テーマを「薬王寺」とし、全6回、他市町の実例等を中心に、講師にお話いただき、話し合いを重ねながら、最終的に全体で一つの企画書を作成した。</p>		
	2月1日(水) 受講者:9人 歴史資料館 中会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業・古賀市の現状について説明</li> <li>②参加者自己紹介</li> <li>③講師・コーディネーター紹介</li> <li>④講師のお話(太宰府の実例等について)</li> <li>⑤座談会</li> <li>⑥まとめ</li> </ul>	<p>講師:太宰府天満宮文化研究所 アンダーソン依里 氏</p> <p>太宰府天満宮での取り組みや、地域へとの関係等についての講話をいただいた。また、地域で行われている市民主導の事業等について、実例の紹介もあり、それをもとに古賀市では何が出来るかを話し合った。</p>
	2月22日(水) 受講者:8人 鬼王荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>①追加メンバーの自己紹介</li> <li>②講師紹介</li> <li>③講師のお話</li> <li>④昼食</li> <li>⑤講師のお話</li> <li>⑥座談会</li> <li>⑦まとめ</li> </ul>	<p>講師:商工政策課 中村商業観光係長 商業観光係高原主事 古賀市観光協会 三輪事務局長</p> <p>古賀市の商業観光についてのお話をいただいた。テーマの薬王寺に沿って、商業観光を文化の力で支援するためにはどのようなことが出来るかを中心に話し合った。</p>
	3月8日(水) 受講者:10人 交流館103	<ul style="list-style-type: none"> <li>①追加メンバーの自己紹介</li> <li>②講師のお話</li> <li>③座談会</li> <li>④まとめ</li> </ul>	<p>講師:坂崎 隆一 氏</p> <p>事業運営についてや、現在出ている企画案をもとにお話いただいた。座談会で出てくるワードが絞られてきた。</p>
	3月15日(水) 受講者:5人 交流館302	<ul style="list-style-type: none"> <li>①講師紹介</li> <li>②講師のお話</li> <li>③座談会</li> <li>④まとめ</li> </ul>	<p>講師:ブルームーンデザイン事務所代表 中川 たくま 氏</p> <p>長崎や筑後等で講師が関わられている事業の紹介や、クラウドファンディングのやり方、また座談会で出てくるワード関わる実例についてお話いただいた。</p>
	3月24日(水) 受講者:6人 交流館301	<ul style="list-style-type: none"> <li>①おさらい</li> <li>②企画の具体化</li> <li>③まとめ</li> </ul>	<p>講師:太宰府天満宮文化研究所 アンダーソン依里 氏</p> <p>過去に出てきた企画をおさらいし、企画案の絞り込みと具体化を行った。</p>
	3月28日(水) 受講者:5人 交流館302	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事務局からの説明</li> <li>②企画書の作成</li> <li>③まとめ</li> </ul>	<p>前回絞り込んだ企画を具体化し、来年度の実施に向けて企画書に落とし込んだ。</p>
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を回毎に変えることでいくつもの他市町での実例が聞けた。また、実例を講師から紹介してもらうことで、運営のやり方や、事業を始めた経緯、維持の仕方など詳しいところまで聞けたことにより、多くのことを学ぶことが出来た。</li> <li>・実例のいくつかは古賀でもアレンジしてやれそうなものもあり、今後の企画発案のヒントになった。</li> <li>・受講者主導のもと、facebookアカウントを作成し、経過報告を行ったり、受講者の感想を伝えたりと、積極的に情報発信を行っている。</li> <li>・来年度の事業実施まで、継続的に連絡、協議を続け、活動が途切れないようにサポートしていく必要があるが、いつまでも行政が主導していつかは自立を阻害するため、受講者の中から自主的に活動の呼びかけが行われるようになっていきたい。</li> </ul>	

## 平成28年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 — ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「あたたかくて楽しいことばのひと時」を持てるよう支援する。</li> <li>・子育て中の親子の居場所や子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。</li> <li>・基本的生活習慣の習得。</li> </ul>		
日時	月1回 11時～12時	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール
来場者		参加者	乳幼児数:322人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<p>4か月児とその保護者を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべうた、ふれあいあそび</li> <li>・絵本の読み聞かせ</li> <li>・ブックスタートの趣旨、配布物の説明</li> <li>・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他)</li> <li>・基本的生活習慣の習得に関する啓発</li> <li>・子どもとメディアとの関係づくりのグループワーク</li> <li>・絵本の引換</li> <li>・育児相談</li> </ul>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて絵本と出会う方もいることから、読み聞かせの楽しさや絵本選びについて伝えている。</li> <li>・つどいの広場「でんでんむし」や、他の子育て支援施設の紹介をすることで、利用の促進を図り、保護者同士がつながりあえるきっかけづくりになっている。</li> <li>・職員にとっては、乳児家庭全戸訪問等で出会った児との再会の場となっており、保護者からの育児相談を受けることで、当該家庭の育児の現況確認ができています。</li> <li>・事業に参加できない家庭には、絵本を持って訪問をする等、支援のきっかけにもなっている。</li> <li>・コミュニケーションの大切さから、赤ちゃんの成長には、心と身体の両方の発達が必要であることを考えてもらうきっかけになった。</li> </ul>		

平成28年度文化芸術事業報告書(文化芸術振興計画管理事務)

計画の位置づけ	環境づくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。</li> <li>・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。</li> </ul>		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	5月31日(火) 10時～12時	第1回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉
			②委嘱書交付
			③市長あいさつ
			④教育長あいさつ
			⑤自己紹介
			⑥会長・副会長の選出
			⑦議事録署名委員の選出
			⑧確認事項
			・古賀市文化芸術審議会運営規程並びに会議の公開等について
			・古賀市文化芸術振興計画並びにアクションプランについて
			⑨報告事項
	・今年度の実施施策について		
	⑩その他の事項		
	・笑顔のつどいについて		
	・歴史資料館要覧について		
	⑪閉会の言葉		
	8月29日(月) 10時～ 11時30分	第2回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉
			②市長あいさつ
			③会長あいさつ
			④報告事項
・平成27年度文化芸術関連事業報告書について			
⑤協議事項			
・歴史資料館要覧について			
⑥その他事項			
・福岡 I ブロック文化講演会について			
⑦閉会の言葉			
10月25日(火) 10時～ 11時30分	第3回古賀市 文化芸術審議会	⑧交流館見学	
		①開会の言葉	
		②市長あいさつ	
		③会長あいさつ	
		④協議事項	
		・平成29年度文化芸術関連事業企画書(案)について	
		⑤その他事項	
・国史跡指定記念企画展「船原古墳展」について			
⑥閉会の言葉			
2月24日(金) 10時 ～11時20分	第4回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉	
		②教育長あいさつ	
		③会長あいさつ	
		④報告事項	
		・文化芸術審議会委員の交代について	
		⑤協議事項	
		・平成29年度文化芸術審議会の開催について	
⑥その他事項			
・子ども美術展と童謡まつりについて			
・新曲「古賀めぐり」について			
⑦閉会の言葉			
成果・課題	・平成30年度に古賀市文化芸術振興計画の見直しを行うため、準備を行っていく。		

平成28年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:演劇ワークショップ・ミュージカル公演)

計画の位置づけ	環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 団体がおこす — 眠った宝を起こす — 団体がおこす
目的	心豊かな人材育成、世代間交流、文化芸術振興を図る。
日時	下記のとおり 会場 ワークショップ:研修棟 定期公演:中央公民館 大ホール
来場者	ミュージカル公演 526人 参加者 下記のとおり
担当課	文化課 担当係 文化振興係 (主催:市民劇団DAICOON)
内容	【演劇ワークショップ】 古賀市内の小学3年生以上から一般成人を対象に舞台芸術の演劇を通して、表現力、創造力、コミュニケーション能力を養うため、演劇ワークショップを行う。また、今回は、参加者から聞いた古賀の記憶や実体験の話を聞き、脚本に盛り込んだ。
	【ミュージカル公演】 また、古賀の歴史、文化、まちづくりを題材にオリジナル脚本、オリジナル曲を作成し、ワークショップ参加者も舞台体験が出来るよう一緒に公演を行う。
	6月4日(土) 13時～16時 5日(日) 10時～16時 内容:即興劇をその場で作り、翌日発表する演劇ワークショップ 参加者:3人 会場:研修棟 参加費 2,000円(1日1,000円)
	5月14日(土) 10時～13時 22日(日) 13時半～15時半 内容:演劇ワークショップ 会場:研修棟 参加費 なし 参加者 団員数名、応募者10人
10月30日(日) 午前の部(11時～) 午後の部(15時～) 内容:市民劇団DAICOONミュージカル公演「わが故郷こが花の如し」 会場:中央公民館 大ホール 来場者:526人 入場料:前売り:800円(子ども300円) 当日:1,000円(子ども500円)	
成果・課題	・ワークショップの参加者の内一人が劇団に加入した。 ・今回は古賀の記憶ということで、実際に古賀に住んでいる人たちの昔の記憶や実体験を脚本に組み込んだため、多くの来場者に共感を得え、感動を与えることが出来た。 ・ワークショップの参加者が3人と少ない。今後はワークショップを短期ではなく、3～4ヶ月単位の長期のものとし、公演への出演を目指してもうらう。 ・来場者が年々減少傾向にある。原因解明に努めたい。

平成28年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:古賀市「第九」演奏会)

計画の位置づけ	環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 団体がおこす 環境づくり — 団体がおこす
目的	クラシック音楽の素晴らしさに触れ、自ら参加、体験(歌う、演奏)をすることで、一体感を持てることや、古賀市の豊かな文化芸術の幅広さを市内外にアピールする。
日時	12月17日(土) 14時～ 会場 中央公民館 大ホール
来場者	555人 参加者 合唱・オーケストラ 他 140人
担当課	文化課 担当係 文化振興係
内容	【第九演奏会】 曲目:第1部ソロ3名「世界の歌をうたう」 第2部ベートーヴェン作曲「交響曲第九番二短調op.125 合唱付」 指揮:穎原 浩司 ソプラノ:鶴田 智子氏 アルト:鞭 眞子氏 テノール:澤田 薫氏 バス:大野 隆氏 合唱:古賀市「第九」合唱団 演奏:古賀市民オーケストラ
成果・課題	・観客からの評価は高く、新潟県や東京都など遠方からの来場者も数名いる。 ・合唱団を公募しているが、なかなか集まらない。特に男声の参加者が少ない。 ・チケット売り上げが、昨年度よりもよかった。ソリストの知名度が向上したことや、チケット料金を前売と当日を同額にしたことがよかったのかもしれない。 ・学生の来場者が多くあり、若い世代への事業の浸透が感じられた。

平成28年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:絵画で古賀市を元気にするプロジェクト事業)

<p>計画の位置づけ</p>	<p>環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 団体がおこす 環境づくり — 団体がおこす</p>		
<p>目的</p>	<p>・古賀市在住の児童の絵画表現活動の奨励支援を、市民参加で推進するとともに、本事業を通して学校、児童家庭、地域住民間の交流の促進、絆の強化を図り、共働の明るい「元気なまちづくり」に貢献する。</p>		
<p>日時</p>	<p>表彰式:10月22日(土) 展示:10月22日(土)~</p>	<p>会場</p>	<p>表彰式:中央公民館 大ホール 展示:市内各所 他</p>
<p>来場者</p>	<p>参加者</p>		
<p>担当課</p>	<p>文化課</p>	<p>担当係</p>	<p>文化振興係 (主催:アートフレンズ25)</p>
<p>成果・課題</p>	<p>【MOA古賀市児童作品展】市内全小学校に協力を得て、児童の夏休みの作品の募集を行い、入賞者は表彰し、外部協力団体や協賛の企業先に展示する</p> <p>【表彰式】 10月22日(土) 中央公民館 大ホール 出展数:826点</p> <p>【メイン展示】 イオンモール福津イオンホール 10月22日(土)~10月24日(月) 来場者 822人</p> <p>【サブ展示】 《千鳥苑 ロビー展》 11月1日(火)~11月30日(水) 社会福祉協議会賞 21点 西鉄バス宗像賞 21点 《びはらホームこすもす館 ギャラリー》 11月1日(火)~11月30日(水) 美原園賞 21点 12月5日(月)~12月23日(金) 西鉄バス宗像賞 21点 《青柳郵便局》 11月14日(月)~11月25日(金) 青柳郵便局賞 8点 11月28日(月)~12月9日(金) 同上 《古賀市役所第2庁舎4階 教育総務課・学校教育課前》 11月1日(火)~12月20日(火) 古賀アートフレンズ25賞 29点 《古賀駅美術館》 11月2日(水)~11月30日(水) 特別賞・審査員賞 《特別展示》 舞の里内科・焼肉マイスターかなちゃんにおいても随時展示</p> <p>ボランティア:42名 協賛企業:36社 個人協賛:11人 後援:6ヶ所</p>		
<p>成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童絵画を通して、児童やその家族のみならず世代を超えた市民交流が出来た。</li> <li>・出展した児童の家族をはじめ、近隣の方々や、学校より直接歓びの声を聞くことが出来た。</li> <li>・企業、団体、市民と共働で事業を実施することが出来た。</li> <li>・当作品展の大賞作品が全国展で文部科学大臣賞を受賞した。</li> <li>・会場を人が集うショッピングモールの中に変えたことで、来場者数も約倍に増え、これまで関係者が中心だった来場者の層の幅が大きく広がった。また、古賀市内の各展示場所の来場者増にもつながった。</li> </ul>		

平成28年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:夏休みこども体験教室)

計画の位置づけ	環境づくり 古賀市の個性を起こす 誇りをおこす		— 眠った宝を起こす	— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす	
目的	古賀市内の子どもたちに、文化芸術を体験してもらうことで、文化芸術に対する興味・関心を引き出す。				
日時	下記のとおり		会場	交流館	
来場者			参加者	739人	
担当課	文化課		担当係	文化振興係(主催:NPO法人古賀市文化協会)	
内容	日程	教室名	対象	定員	申込数
	【夏休みこども体験教室】夏休み期間に、未就学児～高校生を対象に、様々な文化芸術体験講座を開催する。				
	8月6日 2回	ヒップホップダンス教室	幼・小・中学生	40	49
	8月5日 2回	スポーツダンス教室	小学生	40	7
	8月4日 2回	リトミック教室	1～3歳の親子・4歳～6歳	10	16
	8月4日、5日	フラダンス教室①	3歳～高校生	40	35
	8月2日 2回	フラダンス教室②	3歳～高校生	40	21
	8月6日 2回	バレエ教室	幼～小学生	20	21
	8月3日、6日	ヨーガ教室	年長～小学生	20	28
	8月3日 2回	太鼓教室	小学生～高校生	20	36
	8月5日 2回	ウクレレ教室	年長～小・中学生	20	30
	8月2日 2回	津軽三味線教室	小3～高校生	20	17
	8月4日 2回	お琴教室(500円)	小4～小6	30	11
	8月2日 2回	童謡教室	年長～小学生	20	10
	中止	詩吟教室	小・中学生	20	0
	8月6日、7日	パン教室(200円)	小・中学生	40	44
	8月4日、5日	料理教室(500円)	小3～中学生	40	29
	8月2日、3日	お菓子教室(300円)	小3～中学生	40	41
	8月4日 2回	茶道教室(150円)	小学校高学年	30	10
	8月3日 2回	生け花教室①(500円)	小・中学生	20	13
	8月7日 2回	生け花教室②(500円)	幼～小学生	60	30
	8月3日、4日	押し花教室(300円)	小学生	40	40
	8月2日 2回	ブリザード教室(500円)	小学生	30	29
	8月4日 2回	科学教室	小学生	20	20
	8月3日 2回	工作①	小学生	25	25
	8月6日 2回	工作②	小学生	25	25
	8月5日 2回	書道教室①	幼～小学生	40	33
	8月3日、4日	書道教室②	小学生	30	27
	8月3日、5日	絵画教室	小学生	20	20
	8月3日 2回	短歌教室	小学生	40	3
8月5日 2回	将棋教室	小学校3年生～中学生(初心者)	20	21	
8月3日 2回	囲碁教室	小学校3年生～中学生(初心者)	20	7	
8月2日 3回	めだか教室	小学生	20	41	
成果・課題	<p>・講座によっては申込みにばらつきがあり、申込み開始すぐに定員に達する講座もある。講座数を増やしていく等の対応をしていきたい。</p> <p>・補助金終了後の経済的な補填が課題。次年度は報償費をなくし、会場費冷房費を講師負担として実施していく。</p>				

